

# 最上川

山形県倫理法人会  
広報もがみがわ  
平成29年2月27日発行  
www.yamagata-rinri.net

vol. 48

広報最上川 vol.48

【発行】山形県倫理法人会  
【発行人】安藤政則 【編集人】五十嵐久仁子

【表紙題字】中村俊光氏



株式会社マルナカ中村商店 P.4-7

山形県倫理法人会 設立25周年記念式典 P.2-3

いま変革の時！  
純粋倫理の実践者になろう！

平成29年度会長挨拶 安藤政則



一般社団法人 倫理研究所  
山形県倫理法人会

## 倫理経営講演会開催

講演テーマ  
『大転換の時代－“新”に挑む－』／事業体験報告・朝礼実演

今年の倫理経営講演会は、当会をはじめ、全国676箇所です「大転換の時代－“新”に挑む－」と題して開催します。近年のめまぐるしい社会の変化に伴い、企業経営をはじめ、様々な分野で変革が求められています。講演テーマの“新”とは、今までになかったことを意味するだけでなく、本来備わっているものを引き出し、活かすことも意味します。創業の精神を再確認し、持ち味や強みを見直して伸展させることが、企業の繁栄に繋がるのではないのでしょうか。本講演会が、新たな実践に取り組む勇気を引き出し、力強く経営を展開していく契機となれば幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

山形市倫理法人会	2月27日(月) 18:00～	ホテルメトロポリタン山形	終了いたしました
山形市蔵王倫理法人会	3月10日(金) 18:00～	山形ビッグウイング	お問い合わせ事務局 TEL.023-647-5582
北村山倫理法人会	3月24日(金) 18:30～	基点温泉 クアハウス基点	お問い合わせ事務局 TEL.0237-41-2041
鶴岡市倫理法人会	4月 5日(水) 18:30～	グランド エル・サン	お問い合わせ事務局 TEL.0235-22-1879
山形市中央倫理法人会	4月12日(水) 18:30～	山形国際ホテル	お問い合わせ事務局 TEL.023-647-5582
上山市倫理法人会	4月13日(木) 18:00～	かみのやま温泉 月岡ホテル	お問い合わせ事務局 TEL.023-695-6022
新庄最上倫理法人会	4月17日(月) 18:30～	ザ・リヴィントン	お問い合わせ事務局 TEL.0233-23-4331
南陽市倫理法人会	4月17日(月) 18:00～	熊野大社 證誠殿	お問い合わせ事務局 TEL.0238-87-0385
天童市倫理法人会	4月18日(火) 18:00～	ホテル王将	お問い合わせ事務局 TEL.023-647-5582
米沢市倫理法人会	4月19日(水) 18:00～	グランドホクヨウ	お問い合わせ事務局 TEL.0238-26-1788
酒田市倫理法人会	4月25日(火) 18:00～	ガーデンパレスみずほ	お問い合わせ事務局 TEL.0234-21-5517
庄内中央倫理法人会	5月15日(月) 18:30～	文化館 なの花ホール	お問い合わせ事務局 TEL.0234-43-1632
長井市倫理法人会	5月16日(火) 17:30～	タスパークホテル	お問い合わせ事務局 TEL.0238-87-0385
寒河江市倫理法人会	5月25日(木) 18:00～	ホテルシンフォニー 本館	お問い合わせ事務局 TEL.023-647-5582

※変更になる場合がございます。詳しくは事務局までお問い合わせください。●誰でも気軽に参加できます(参加費：2,000円)



発行 山形県倫理法人会  
〒990-0835 山形市やよい二丁目1-47  
TEL.023-647-5582  
FAX.023-646-7660  
www.yamagata-rinri.net  
発行日 平成29年2月27日



編集後記  
山形県倫理法人会  
広報委員長 五十嵐久仁子

今号も記事の執筆、取材に応じて頂きました皆様、誠にありがとうございました。マルナカ中村商店様の取材中のこと。中村相談役が綴られている職場の教養26分を拝見しました。最新号の表紙には「発行部数185万部」とありますが、相談役が入会した当初1991年4月号には発行部数が記載されておらず、はて、いつから記載しているのかと遡ってみると2002年7月号に「発行部数100万部」とありました。この頃100万部を突破し「よし!表紙にも載せよう」と、編集者様達の高揚した気持ちの現れを感じました。また、先月の役員会では「全国で一番最初に中間目標数値を達成したのは山形県です!」という報告に心から拍手が湧きました。たかが数字、されど数字。努力と想いが詰まった実践の結果である数字には、大きな力が宿る事をあらためて実感しました。

facebook 山形県倫理法人会グループ

あなたの力で活性化を!

FACEBOOKに登録されている方は、是非山形県倫理法人会グループにもご登録しませんか?各単会や委員会からの旬な情報が確認できます。まだまだ情報は少ないので、FACEBOOK特派員として単会の活動をどんどん載せてくださる方を、お待ちしております!



# いま変革の時！ 純粹倫理の実践者になろう！



山形県倫理法人会会長 安藤政則

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたりまして、地球の安泰と日本の弥栄、そして人々の幸せを願い、倫友の皆様のご多幸を祈念申し上げます。本年も倫理法人会活動に何卒ご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

新年度も5ヶ月目にあたり今年度に掲げた活動方針書と活動計画書の内容を振り返り精査したいと思います。

活動方針の冒頭に掲げていますが、地球の安泰なくして、生物の生存、人類の生命はありません。地球の安泰は生命保全の基であり、これこそ人間の実践すべき倫理の最高に位置するものです。自然を畏敬・親愛し、「地球人」たる自覚を深めて、「夢はてしなく」の3番の歌詞のように、私たち一人ひとりが俯瞰して物事を捉え、自分がやれることを日々実践し、「地球倫理の推進」を次世代に引き継ぎましょう！

「いま変革の時！ 純粹倫理の実践者になろう！」今年度スローガンに基づき

## ■ 事業計画達成 及び単会支援出来た事（達成）

- ① 25周年行事・講演会の開催（12月14日）
- ② 山形市内4番目の新単会、山形市霞城倫理法人会の設立（1月17日）
- ③ 県会員大会・記念講演会（10月26日）

## ■ これから行う事業計画達成 及び単会支援

- ① 最優先課題の資格割れ8単会の資格割れ復帰
- ② ゆるぎない1650社体制
- ③ 「充」の山形市内600社体制（純増）

- ④ 中間目標1600社達成
- ⑤ 全会員誕生日の山形新聞一面記事プレゼント企画の実施
- ⑥ 単会会長ラジオPR活動の実施
- ⑦ 副幹事長2名体制の委員会担当制の実施
- ⑧ 事務局長体制の実施
- ⑨ 県内レクチャラーの再開、講師選定リスト表の作成
- ⑩ 各委員会の具体的計画書を作成実施

# 日新

時間も命も日に新たに一日一生の気持ちを持つ  
書/安藤政則会長

- ④ 毎週定期的に拡充活動を各単会で行う
- ⑤ 単会目標…役員朝礼参加者50% MS参加者30%（自単会）
- ⑥ プロック単位で新入会員オリエンテーションの開催
- ⑦ 「倫理経営基礎講座」の受講は役員必須。【欠席の場合他単会で受講する】
- ⑧ 倫理経営指導（倫理指導）を受ける事。まずは単会会長、専任幹事は一回以上の指導を必須とします。
- ⑨ MS講師選定は40日前に決定。
- ⑩ 各委員会のマニュアル整備。法人局のマニュアルに添った運営に徹する。
- ⑪ 山形県倫理法人会の会則、細則規定制定。
- ⑫ 宮城倫理経営塾の講師陣の支援を頂き、開塾準備委員会を発足する。
- ⑬ 地球倫理の実践。各単会で日程を決め「清掃活動」を行う。

委員会、単会の目標、単会会長の想いに寄り添い、具体的に見える化を図り県として総力を挙げておこなって参ります。

山形県倫理法人会の皆様が大いに倫理を学び、喜び、実践、実践されて、私たち自身もご家族も社員の方々も、まわりの仲間も笑顔で幸せになりますように、心よりご祈念申し上げます。

すべては地域の活性化！ 日本創生のために！



# 25年の歴史を心に刻み 更なる発展を誓う

## 山形県倫理法人会設立25周年記念式典

12月14日（水）、山形グランドホテルにて87名の参加で開催されました。

山形県倫理法人会設立のきっかけは、東北でいち早く発足していた宮城県の時時会長星川滉一氏と、山形県初代会長となる本間利雄氏の出会い。平成2年10月15日54社で準倫理法人会が立ち上がった翌平成3年9月18日に104社で正倫理法人会となりました。

安藤政則会長による謝辞では「本日12月14日は、創始者である丸山敏雄氏の命日にあたる。氏の最後の言葉『いそぐな…先のこととは心配するな…自然に任せて処置を取れ…これでよい…よろこべ』を改めて噛み締め、自身の役について深く考える日となった。そして1月17日に新設する山形市霞城倫理法人会も、本日101社で正倫理法人会登録社数を達成する事ができた。この25年を創り上げた仲間達と共に更に山形市内600社を目指し、この大いなる力を山形県全域に広め、そして日本を変えていく気概をもって邁進したい」と、決意を語られました。

第二部は、致知出版社藤尾秀昭社長による記念講演会「出会いの人間学」。38年前の創刊から一貫して「人間学」を探究する月刊誌「致知」。その仕事にかける情熱と、多くの出会いと感動の生きざまをエネルギーに語られました。祝賀会は、五十嵐慶三相談役の乾杯から始まり、鈴木隆一相談役による中締め、中村恒一相談役による閉会の言葉と、3名の歴代会長による挨拶で、25周年を振り返るにふさわしい喜びに満ちた会となりました。



# えがおの げんば



■ えがおの人  
山形県倫理法人会 相談役

**中村 恒一** 氏

昭和18年 山形市生まれ  
血液型 B型

山形市蔵王倫理法人会 専任幹事

**中村 祥之** 氏

昭和48年 山形市生まれ  
血液型 O型



■ えがおの現場

## 株式会社マルナカ 中村商店

[代表取締役] 中村祥之  
[創業] 大正2年  
[所在地] 本社/山形市大字漆山字二ツ段 2113-2  
[事業内容] 砂糖・小麦粉・澱粉・食油・油脂・液卵・食添・調味料・乳製品・洋酒等の卸売・医薬品一般卸売業

創業から104年。(株)マルナカ中村商店は近江商人の末裔として、「売り手よし、買い手よし、世間よし」という『三方善(さんぼうよし)』を商いの理念に、食の卸売業を営んできました。この理念は倫理の教えと相通じるものがあります。倫理経営を積極的に取り入れていている中村恒一会長と祥之社長を訪ね、歴史を守りながら地道に進化し続ける経営のあり方について伺いました。

### 商品を安全に保管するための取り組み

**社長** 砂糖、小麦粉、油類、調味料など弊社で取り扱う商品の大半は常温保管ですが、商品にとって最適な倉庫環境をつくっていくために様々な取り組みを行っています。一つは、川の側に立地しているという利点を活かし、夏は汲み上げた地下水に風

をあてて冷風を送り、冬は全床面下に張り巡らした配管に地下水を流し込むことで冷えを緩和したりと、地下水を倉庫や事務所内の温度調節に利用しています。二つめは、外気温の影響を最小限にするために、屋根と壁面は断熱材使用の二重構造にしています。三つめは防虫・防鼠のために窓を無くし、搬入搬出用の出入り口は最小限の開口にして、防

火シャッターと防虫用のスピードシャッターを二重にしました。更に冷凍庫・冷蔵庫・低温庫・15度以上の保温庫を設置して、各商品に適した保存管理を行っています。

### 「のれん」を大事にしなさい

**社長** 私は4代目になりますが、小さい時から会社を継ぐものだと育てられてきました。「戦時中一度休業せざるを得なくなり、戦後になり再開することができたのは「のれん」があったからこそなのよ。「のれん」を大事にしなさい。」と、伯母に言われましたね。

### 倫理との出会い

**会長** 平成3年に、(株)シベールの熊谷真一さん(現山形県倫理法人会相談役)からお誘いを頂きました。当時、「山形県倫理法人会」は準倫理法人会として歩み始めたばかりの頃。入ってまもなく経営倫理講演会(現倫理経営講演会)があり、講師の体験報告は「もしかしたら私の人生が変わるかも」と思うほどインパクトがありました。その時の話は、「仕事に失敗は許されない」という自分の思いから社員を怒りながら経営をしていた講師が、友人から渡された万人幸福の葉を読んだことがきっかけで経営方針を変え、成功したという内容でした。葉に書いてある「いくら失敗を責めても人は良くならない」との教えを読んで、彼は社員を責め立てていたことが全く無駄な労力だと気づき、それから「褒める経営」に変えたそうです。具体的には、社員に「褒め言葉カード」を渡し、社員同士で相手の良いところを見つけてはカードに書き、社内に設置したポストに投函させるといふもの。その結果、社員は他人を褒



情報提供や新製品開発のサポートなど、お客様の繁栄に尽くします。

めたいと思うようになり、社内の雰囲気も変わったそうです。  
その頃、私は社長になったばかりで、「いい会社」にするために社員の意識を変えていきたいという思いが強くなりました。与えられた仕事を時間内にこなすのは当たり前のことでも、お客様を迎えるときに「こんにちは」という挨拶もないような会社だったら、お客様はどんな印象を持つでしょう? そうした意識付けをしていくためにいつも社員を注意し



親睦を深める社員旅行や  
ビアパーティ。

## OFF の過ごし方は？

**会長** ゴルフと、倫理に関する本を読んで過ごすことが多いです。法人アドバイザーとして講演会の講師を務める事が増えましたので、基本に還る為にも読書は大事な時間です。



職場の教養は入会後全て綴っています。  
初回は26年前、1991年4月号。

**社長** 一緒にやれることが増えてきたので、子どもと遊んでいます。スポーツするのも観るのも好き。今はゴルフ、昔は硬式テニス、野球をしていました。



マツダスタジアムにて。小1の頃より40  
年近いカーブファンです。

いるので、息子が社長を継いでからは経営計画書も新しくなりました。  
**社長** 新しくすると言っても経営理念に対する考え方を変えることではなく、「伝えるのにもっと良い方法があるのではないか」ということを踏まえて見直すということです。これまで計画書の中で目標としていた部分がクリアできれば、その部分に新しい目標を上書きしていく…それが進化していくことに繋がると思っています。経営理念を経営計画書に織り込んでいるので、経営者としての思いと社員の感じ方が違う部分もあると思います。価値観はある程度共有できているのかなと思っています。  
**会長** 私が先代から受け継ぎ積み重ねてきた、「今」が息子にとってはスタートラインなわけですから、私は

「ようやくここまでできた」と思っているけれど、息子にとっては「まだまだだよ」と感じるはず。私も父の過去を見ながら、「これではいけない、こういうふうにしたい」と思いながら進んできましたからね。  
**社長** 時代の変化を見据えつつ、必要があればしっかりと対応できるように工夫していかなければならないと思っています。でも、変化は人によっても負担に感じてしまうことも

あるので、仕組みをがらっと変えるということではなく、少しずつ積み上げていきながら会社の風土をつくっていかたいですね。  
**倫理法人会への思い**  
**会長** 私は倫理研究所法人局のアドバイザーという立場から、地元だけでなく北海道・東北エリアで倫理の良さをこれからお伝えしていきたい

と思っています。会員一万社を達成したいですね。  
**社長** もちろん自分の入っている単会(蔵王)の会員を増やして盛り上げていこうという思いはありますが、それぞれにカラーがあり、どの単会に入っても勉強するという本質は変わりません。どんな話でも「なるほど！」と思うことがあります。「話を聞く」ということを多くの方に体感してもらいたいのです。



倫理17000ライセンスも更新されました。



**社長** 今は私たちが指示するということよりも、朝礼を活性化させようと「朝礼」活動グループが様々な提案をしてきています。手鏡で自分の顔を見ながら笑顔の確認をする「笑顔のつくりかた」を提案してくれたのも社員です。  
**会長** 他にもマルナカ・ジョイフル活動として「清掃」「イメージアップ」「広報」「親睦」

に分かれ、リーダーを中心に月別の活動目標を設定して取り組んでいます。例えば、「イメージアップ」チームは会社周辺の道路や側溝の清掃、ごみ拾いや草刈り、草木花の世話などを行っています。どのチームも自主的に状況を判断して行動するようになりました。こうした点にも「職場の教養」の教えが反映されていると思います。

## 受け継いでいく ということ

**会長** 25年も前のことになりましたが、モーニングセミナーで「経営計画書をつくる」という話を聞き、早速計画書を作って経営面に導入しました。経営方法はその時代に合わせたやり方があります。その時々社長の考えで変えていくものだと思います。

ていたけど良くなる。少なからず似たような悩みを持っていたので講師の話は共感できることばかりでした。その後、富士研修所に学び、倫理のすばらしさを確信。「倫理の教えを人生のものさしにしよう、経営の基本にしよう」と決意しました。

**会長** 最初に始めたのは、これまでの朝礼に「職場の教養」の輪読を取り入れること。でも、「朝の忙しい時間に朝礼で本読みなんて」という社員たちの声で、たった3、4日でとん挫。倫理研究所に相談すると、「あなたの決意が弱いだけ」とだけ。(笑)自分の決意が強ければ社員たちに伝わるはず…そう思った私は、朝礼に対する自分の考えを社員に伝えました。すると驚くことに、次の日から凜とした空気感漂う朝礼に変わったのです。経営者としての決意を、はっきりと伝えていくことの大切さを実感したできごとでした。





仲八郎さん。ベテランならではの落ち着いたステージ!おひねりも飛び出、大爆笑の時間でした。  
 タブレット純さん。会場から黄色い声援が飛ぶほどの人気!写真や握手のおねだりにも快く応じてくれました。  
 山形市霞城倫理法人会で立ち上げに関わってくださった方々のご挨拶。

山形市蔵王倫理法人会  
 イベント報告

交流を深めた忘年会

広報委員長 真田節子

平成28年12月7日山形グランドホテルにて、恒例の忘年会が開催されました。中村会長の挨拶に始まり、ゲストによるオンステージ。また、新しくできます「山形市霞城倫理法人会」のご案内と盛り沢山の内容で行われました。会員のご家族も大勢参加いただきアットホームな雰囲気で忘年会でした。

各単会ではいつでも  
 皆様を温かくお迎えます!

単会通信

PICK UP 15

モーニングセミナー以外にも  
 会員同士の交流の場がこんなに  
 沢山! 活力に満ちた活動や、  
 気づきの実践をご紹介します。

庄内ブロック

- 酒田市倫理法人会
- 鶴岡市倫理法人会
- 庄内中央倫理法人会

村山Bブロック

- 天童市倫理法人会
- 寒河江市倫理法人会
- 新庄最上倫理法人会
- 北村山倫理法人会

村山Aブロック

- 山形市倫理法人会
- 山形市蔵王倫理法人会
- 山形市中央倫理法人会
- 山形市霞城倫理法人会

置賜ブロック

- 米沢市倫理法人会
- 上山市倫理法人会
- 長井市倫理法人会
- 南陽市倫理法人会

山形市霞城倫理法人会  
 イベント報告

山形市内に誕生!  
 山形市霞城倫理法人会

会長 菅野美奈子



このたび、1月17日に山形市霞城倫理法人会の設立式典が行われ、県内15番目、山形市内4番目の単会として仲間入りさせていただきました。設立式典、および翌日の第一回モーニングセミナーには多くの方々にお集まりいただき、心から感謝申し上げます。また、設立までたくさんの方に支えていただき、お力をお借りしました。まさに激動の数か月でしたが、これほど気づきや学び機会をいただけることは他にありません。本当にありがとうございます。式典でいただいた認可証と行動旗について、その意味と重みをしっかり受け止めて歩んでまいりたいと思います。

設立日は、戦後最大の都市型災害といわれる阪神・淡路大震災の日でもあります。そして現在、東日本大震災、熊本地震等でも苦しむ生活者余儀なくさ



れている方が大勢います。何かの時に助け合える社会であるために、私たちにできることは、純粋倫理を基底にした健全な家庭づくりと、「心の経営」を目指す倫理経営です。それは、山形県内、日本国内、世界の人の心に明るいパワフルな力を灯せるのだと思います。

当会のスローガンは「愛と笑顔と純粋倫理で、打つ手は無限」です。倫理と経営は一体であります。倫理が経営者の心の学びの場(研修、修行?)であつても楽しく、そして愛がなければ、発展はありません。人を愛して争わず、互いの発展を願えるように、霞城(廻刺)な愛で突き進みます。

山形市霞城倫理法人会の会員皆、設立、仲間との出会いに感謝し、それぞれ純粋倫理の実践者となるよう歩んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



鶴岡市倫理法人会  
 取り組み報告

普及は丁寧な「関係づくり」から

拡大委員長 荻原拓哉

1月から入会いただいた株式会社岡さき様の入会経緯についてお話し

ます。代表の岡崎さんとは青年会議所での仲間であり、色々な所でお会いすることが多い方でした。最初のアプローチは10月2日、モーニングセミナーの講師として仙台はせくら倫理法人会相談役の寺嶋様をお招きしての食事がきっかけでした。どうせなら入会していただきたい企業さんで食事を開こうということで岡崎さんの店「魚亭岡さき」に寺嶋様と共にお邪魔させていただきました。じっくりとお話をしました。経営者の悩みなどを伺ったり、今後の展開を話したりしましたがその時はそのまま帰りました。後日お店にうかがった際に、実は入ろうと思って連絡しようと思っていたと話をしていただきました。

ポイントとしてはもとの繋がりと信頼関係があるからこそ入っていただけたのではないかと思います。そして経営者様のアンテナの高さがあつたからこそその入会になったのではないかと思います。今後関係構築をテーマにして拡大につなげたいと思っております。



酒田市  
倫理法人会  
会員企業報告

快挙!!

広報委員 佐藤俊一

第54回技能五輪全国大会に、菅原勝安酒田市倫理法人会相談役法人レクチャラー率いる(株)グローバルマシンの、相馬佑紀選手が出場を決め、去る10月21日からビッグウイングでの大会に臨みました。

技能五輪とは、TV等でご存知の方も多いと思いますが、中央職業能力開発協会主催で、毎年各県持ち回りで、日本のものづくりの向上を図るために行われており、本年は、山形県開催、若年層(23歳以下)を対象に41職種があり、参加企業には、日本のものづくりのトップクラス企業も多数参加しております。

専用機械も購入して2年目の挑戦、菅



原社長のあの高笑いがかっこえそう…。結果、入選は果たせなかったものの、相馬選手の更なる成長奮闘と3年目の結果に期待したいと思えます。

寒河江市  
倫理法人会  
気づきの報告

倫理を学んで  
思うこと

広報副委員長 高橋謙一

当社は以前より倫理法人会に入会しており、社長が参加していました。私も平成28年7月からお世話になっております。会の活動についてはほとんどわかりませんが毎月送られてくる職場の教養の中の「今日のこころがけ」は朝礼で社員全員輪番で読むようにしていました。7月から参加し、9月から広報副委員長となり何回か役員朝礼とモーニングセミナーに出席をさせていただきましたが、いろんな方々の大変すばらしいお話しを聞き感動と感銘をいただきました。近年物質的には大変豊かな世の中になりましたが反面、倫理、道徳やモラルが薄れてきているのも事実ではないでしょうか。今後倫理法人会ですばらしい皆様のお話しを聞いているんな面で吸収させていただき会社の健全経営、家族、友人を大切に自分も成長していきたいと思



ます。

庄内中央  
倫理法人会  
イベント報告

第4回  
会員大会を  
終えて

研修副委員長 阿部博

去る12月17日、会員大会を開催致しました。去年、9月から活動を振りかえり



ますと、講師をして頂いた多くの方々から興味深いお話を頂き、大変お世話になりました。おかげ様で充実した時間を共有する事ができたと感謝しております。当単会での参加企業様をより多く増やす事を目標として、倫理のすばらしさをひろめていく事を確認しました。懇親会においては、会長をはじめ全員が笑顔であふれ、楽しいひとときを過ごせました。



今後予定されている講師の方のお話も盛り沢山となっております。講師の方への感謝をもって学びを深めていきたいと思えます。より多くの方の参加をお待ちしております。

新庄最上  
倫理法人会  
イベント報告

特別イブニングセミナーを  
終えて

広報委員長 小屋茂

平成28年11月7日に、新庄最上倫理法人会では初めての試みである特別イブニングセミナーを開催致しました。講話者に最上町出身の株式会社資生堂 顧問 関根近子氏を迎え「輝いて生きる! プラス思考の育て方」歩いた後に一輪の花を咲かせたい」のテーマでした。参加者153名、多数の女性の方の出席で華やかで、ほっこりとした会場でした。



県内で美容部員として入社し、その後営業本部長となり単身赴任。大阪支社長、美容企画推進室長などを経て、2014年執行役員常務。2016年顧問に就任。子育て、親の介護を経験し、それぞれ苦労もあつたが、全てが自分のキャリアになる。一番感銘を受けたのは、「今日という日は残りの人生の中で一番若い日です。何かを始めるに遅いということはない。」言葉と出会いが行動を変え、自分の気持ちをプラス思考へ、との事でした。プラス思考とは「今ないもの」でなく「今あるもの」に着目し考える事がプラス思考に気持ちをセットすると、仕事もプライベートも変化したとの事でした。生き生きと素敵な笑顔の講演会でした。

新庄最上倫理法人会も8年目を迎えますが、この講演会を通して、まだまだ底力があることを証明出来たと確信。これからの倫理を広める起動力となる事を期待します。



米沢市  
倫理法人会  
イベント報告

クリスマスパーティーの開催

広報委員長 鈴木総一

昨年末の12月16日(金)に上杉城史苑様を会場に、毎年恒例の米沢市倫理法人会クリスマスパーティーを開催いたしました。当日はあいにくの雪降りとなりましたが会員の皆様にとっては年末のお忙しい中にも関わらず、普段は都合でなかなかモーニングセミナーなどに参加できない方や、お子様連れまで多数の参加を頂くことができました。

パーティーの余興として、当単会の遠藤専任幹事のギターと青野モーニングセミナー委員長のパーカッションのセッションと、宮下県広報副委員長のバンド演奏で大いに盛り上がる事ができました。また、温かい料理とおいしい飲み物を頂きながら、会員さん同士の話も弾み、交流・親睦を深められたようでした。

そして、パーティーのもうひとつの目玉となるプレゼント抽選会は、今回も会員の皆様からたくさんのお品のご協力を頂いたことにより、おかげさまで大盛り上がりに行うことができました。ご参加いただきました会員の皆様の笑顔が、私にとって何よりのクリスマスプレゼントとなりました。



北村山  
倫理法人会  
取り組み報告

単会広報誌『明朗』の発行

相談役 早坂幸起

単会活動の基本は「経営者モーニングセミナー」（以下MS）、しかしながらMSへの参加率は県平均でもわずか15%にすぎません。残りの85%の会員が不参加で、中には一度もMSに参加すること無く退会される会員も少なくありません。



このような悩みを会長時代の3年間ずっと抱えており、何とか会員の皆さん（特にMSに参加されていない会員）にMSの様子や単会活動の様子を伝え、顔を出してくれるきっかけづくりが出来ないかと考えていました。そんな時、以前天童市に在籍していた時に当時の五十嵐天童市長（現 県相談役）が毎月のMS内容をお知らせする「かわら版」を発行していたことを思い出し、今年度10月より会報『明朗』発行の運びとなりました。



予算もないことからエクセルベースでのフォーマットを作り、広報委員会だけに負担をかけないように役員皆で手分けしての執筆としました。またMSの様子だけでなく裏面には「えがおのげんばin北村山」ということで毎月会員さん一社をピックアップして、これもいくつかの取材チームを作って訪問しています。役員皆で広報誌を創るんだ！というチームワークの良さは北村山ならではのなにかと思いますし、執筆者は自ずとMSに参加する姿勢も違ってくるようです。

長続きするには楽しみながらの発行が大事、来月は誰に原稿を頼もうかと編集長気分を楽しんでいます。

山形市中央  
倫理法人会  
イベント報告

設立5周年記念式典開催

広報委員長 大場康平

山形市中央倫理法人会は、昨年設立5周年を迎えました。去る11月8日に記念式典、記念講演会を山形国際ホテルで開催いたしました。沢山の方々にご参加いただき、設立にご尽力下さいました皆様には、ご祝辞のお言葉を頂戴いたしました。改めて沢山の方々に支えていただいている事を実感しました。誠にありがとうございました。第2部は、クロフネカンプニーの中村文昭社長様による記念講演会を行い、こちらも400名を超えるお客様にお越しいただき、大盛会となりました。ご参加下さった方々、裏方でご準備いただいた皆様方に心から感謝いたします。



布施富将初代会長、新田裕之2代目会長に丁寧な土台を築いていただきました。そして3代目松田浩会長の下6年目がスタート。益々元気に素敵な笑顔で山形市中央らしく、これからも歩んで行きたいと思えます。

山形市  
倫理法人会  
気づきの報告

倫理を学ぶとは

広報委員長 国島潤一

昨年から引き続き、広報委員長をさせて頂いたことになりました。100点満点とはいきませんが、自分なりに良くてきた一年だったと感じています。モーニングセミナーや役員朝礼、講演会にも参加できました。勿論、広報副委員長はじめ役員、各委員長のご協力、ご指導のおかげだと感謝しています。今年度は、各委員会の委員長活動方針を掲げ、会長方針を達成すべく継続して会員皆様のご協力よりしくお願ひします。



昨年、12月14日に開催されました山形県倫理法人会設立25周年記念講演会に出席することができました。致知出版社の藤尾社長の講演ということで多くの方々が参加されていました。私も楽しみにして出席したひとりでした。楽しい中にもすごく深いお話、また感動的なお話とあっという間に時間がすぎました。その中で、柳生家の家訓についての話がありました。学生時代にも聞いたことはあったのですが、現在の立場や環境の中で聞くときと凄く心に響きました。柳生家家訓の内容についてはここには記しませんが、まだまだ成長が足りない自分を感じ、未熟さを痛感しました。

倫理法人会では、多くの気づきや学びがあります。同時に困難に気づくこともあると思います。この困難に気づくことが成長にもつながるのではないのでしょうか。是非多くの会員皆様も成長のチャンスと一緒につかみませんか。今年度も更によい一年になりますようご祈念いたします。

上市市  
倫理法人会  
イベント報告

女性委員会主催  
クリスマスパーティー

晋道洋子



12月3日（土）かみのやま温泉 月岡ホテルを会場に女性だけのクリスマスパーティーが開催されました。新庄・鶴岡の遠方からも、ご出席頂き50名の参加。佐藤圭子県女性委員長の明るい元気な挨拶に始まり、各単会ごとに女性委員長より紹介。「日那様に愛されている単会の方々は宿泊せず、新幹線で帰ります」とユーモアたっぷりにご挨拶される単会もありました。月岡ホテルさんの美味しいフルコースとワインに酔いしれました。

そして、いよいよ「菌 弾子さん」登場！綺麗な歌声とステキなドレス！歌に酔いしれ、久しぶりにペンライトを振った応援。笑いあり涙ありのトークショー。一人ひとりに人生があることをしみじみ感じました。その後、山形市霞城倫理法人会設立について、会長菅野美奈子さんより力強い意気込みを感じるご挨拶を頂きました。そして役員さんから頂いた、綺麗な鉢植えのお花の抽選会。最後の締めは長井市倫理法人会的那須喜美子副会長。アカペラでの素晴らしい独奏で皆さん感激の中、幕を閉じました。

「あー」という間の楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。



南陽市  
倫理法人会  
気づきの報告

### 会長就任に あたってチヨット 一言つぶやき

会長 飯塚一博



本年度、南陽市倫理法人会の会長を拝命しました飯塚一博と申します。会長4代目の9年目、来年は設立10周年の区切りの年です。躍動感ある単会運営を目指して頑張っていきます。安定した会の運営と人を連れて来たる『凛としたモーニングセミナー』の実践、そして出来る限りの戦略と戦術を練りながら、確実な普及で『悲願の目標100社達成』に邁進します。多くの課題がありますが、一つひとつ問題を解決しながら、会員皆さんで盛大に10周年祝賀会を開催したいと考えています。29年度は、我が単会の流れを変え、明るく活気のある楽しい単会にするため、粉骨砕身努力精進してまいりますので、皆様のご協力を心からお願い致します。結びに、会員普及の方は(2/2現在)14社達成をいたしております。会長の仕事最初の1歩は、会員増員だと思います。

天童市  
倫理法人会  
気づきの報告

### 富士研を終えて

副専任幹事 佐藤宏太



今回初参加で臨んだ富士研。一緒に仕事をしている両親への感謝について学びを得るという目標を持って参加しました。2泊3日の研修中は、ひたすら自分の中の想いを確認する時間。紙に書いたり、口に出して倫友の皆様と共有することで、普段は見えて見ぬふりをしていた自分の中にある想いを「理解」から「体感」へと深化させることがわかり。こんなに集中して自分の想いを見直す時間など、普段は取れない。研修中に自分の中からの皆さんの気づきが生まれた事にただただ驚きと感謝の念が出てきます。また、私はチームリーダーと、臨時の集合リーダーを経験することができ、リーダーでなければ味わえない感動を味わう事ができたと思います。倫理の教えを、知識だけでなくいかに実践するか。富士研はそれを知るには絶好の場です。今回の学びを、まずは半年間、実践できるように努めます。

長井市  
倫理法人会  
気づきの報告

### 自分にとって 腹を決めること

会長 小関利一



『万人幸福の葉』の第三条「目の前にきたあらゆる機会をとらえて、断乎として善処する人、一度ごうと目的を定めたら、終始一貫やってやったりや抜く人、これが世に言う成功者である」と書かれています。つまり、強い信念を持って実践すれば、必ず運は開けるのである。ではどのように実践すればよいのか。その具体的な実践は、まず即行の実践である。気がついたらすぐ行う、直ちに実行するということ。そして断行、断じて行うこと。どんなことがあっても行うこと。さらに貫徹、貫いてやり抜き通す。貫き通す、やり通すこと。と教えられました。ところが、私自身の頭の中ではわかっているつもりでも、これは出来るが、このことは出来ないと色分けしていることに気が付いた。出来ない理由を捜して、最後まで努力せず、あきらめる自分に、今日より目標達成の為に腹を決め頑張る決意です。

# 山形に 寄り添って

ESSAY 有坂方面長 発



出張中、非常に気を配ることの一つは「交通機関での移動」です。平成17年9月、方面担当者として九州沖縄方面へ出張するようになった頃から現在でも、強風、台風、大雨、大雪……など、大自然の猛威による影響で(〇〇)の開始時間間に合うかなあ?……と冷や汗を感じる場面にも遭遇することが、たびたびありました。

九州沖縄方面担当時代に、初仕事となるはずだった宮崎県日南市倫理法人会への出張が、台風の影響で中止になったことがありました。

東京から福岡県博多駅までは辿り着くことが出来たものの、その後利用する予定だった列車や高速バスは全て運休となりました。日南市倫理法人会の会長さんへ電話をし、事情を説明したところ「有坂さん、悪天候の中わざわざ博多まで来てくれたんですね、ありがとうございます。次の機会楽しみにしていますからね」と温かな言葉をいただき、ありがたや申し訳なきで心がいつぱいになった思いは、今でもハッキリと覚えています。

実は、山形県でも同じような場面に遭遇したことがあったのです。それは一昨年9月11日、「平成28年度山形県倫理法人会役員辞令交付式」の日の

ことです。

9月9日から11日にかけて東北・関東地方は非常に強い豪雨に見舞われ、9月11日早朝、私は福島県JR郡山駅を出発して山形へ向かいましたが、途中の福島駅で列車はストップし「大雨の為に運転見合わせ」となったのです。

愕然とした気持ちと共に「年一回の一大行事の辞令交付式、欠席したらマズイよなあ」と不安が膨れ上がっていました。駅員に運転再開の目途について尋ねても「分りません」の一点張り、心の中はイライラするばかり。……何か良い対策はないかと考えるのですが、土地勘もないのでアイデアが浮かんできません。

その時、「そうだ!6月の方針説明会でお会いした原幹事長(当時)さんに相談してみよう」とピンと気づきが来しました。(でも、辞令交付式の準備で忙しいんだろなあ……)という気兼ねも生じましたが、思い切って携帯電話をプッシュ!電話口から、以前お会いした時と同じ元気な声で「方面長!どうも

どうも、原です!!」という言葉が響きました。ホッとして事情を説明すると「わかりました!山形へ到着できるように、役員の誰かを車で迎えに向かっ

てもらいます」と快く対応してくださいました。

その後、米沢市倫理法人会所属で当時の山形県倫理法人会朝礼委員長であった宮下徹さんに、わざわざJR福島駅まで自動車でお迎えいただき、結果無事に辞令交付式の会場へ到着することができたのです。移動中の車中で、宮下さんの倫理法人会との出会いや活力朝礼に関する期待などを聞かせていただきましたが、その言葉の響きは幼い頃に母親の実家でお世話になった叔父や親戚達のものと同じ響きでした。

原さんや宮下さんに快く対応をしていただいたことへの感謝と、どこか懐かしさを感じる声の響きに包まれます。山形の人々、ありがたいなあ。今も支えられている自分なんだなあ」としみじみと実感しました。

振り返れば、移動中のトラブルは、一見すれば「困った出来事」と受けとめてしまいがちですが、『万人幸福の葉』第四条「万象はわが師」に基づいて視点を変えれば、自分自身が生かされて生きていく存在であることに気づくチャンスになるのです。

今年はどうな気づきや学びを得られるか、楽しみにしたいものです。



一般社団法人倫理研究所  
法人局普及事業部 次席  
北海道・東北方面 方面長

有坂 宏一

東京都出身  
1994年 社団法人倫理研究所に入所  
富士高原研修所で2年間の研修を受ける。  
1996年 出版局編集部 配属  
『新世』『倫理』などの編集にあたる  
1998年 生涯開発局企画部 配属

2001年 法人局教育業務部 配属  
2002年 総合教育企画室 配属  
2004年 研究局研究部 配属  
2005年 4月 法人局普及事業部 配属  
以来九州・沖縄、東海・北陸・中国・四国担当を経て  
8月 法人局普及事業部  
2015年 北海道・東北方面方面長 ……現在に至る